

2016 年度 精神看護学セミナー レポート

平成 29 年 3 月 4 日(土)に、『グループのちからを再確認！！～当事者同士が語り合える場づくり～』をテーマに、2 名のシンポジストをお招きして開催しました（参加者 33 名）。

城西国際大学看護学部精神看護学准教授 小林みゆき先生からは、「集団精神療法の理論と実際」について紹介して頂きました。山形県立こころの医療センター 佐藤充さんからは、修士課程で行なった研究結果を基に、「再入院になった統合失調症患者に対するグループの展開」について報告して頂きました。

ディスカッションでは、参加者の方々からたくさんのご質問やご意見を頂き、グループアプローチの実践における対象選定について、グループアプローチにおけるファシリテーターの心構えについて、ファシリテーターと対象患者・対象患者同士の相互作用について、患者の語りたい欲求を察知する力を磨くことについて、などを考え合うことができ、とても充実したセミナーとなりました。

参加者からのアンケートでは「グループを作ることで生じる考えの変化など、多くの影響や治療的効果について感じる事ができた。自分の担当している場面でも取り入れることができるものがいくつか浮かび、とても参考になった。」「患者さんのつらさにどう対応したらよいか、退院後の生活をどう送ることがいいのか、考えていく 1 つの方法になると思った。」「自由に語れる雰囲気、グループの力を引き出せる場作りを念頭に仕事をしたい。」といった感想が寄せられました。

